

2023. 3. 10

No.047

取手駅「2022年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ 2月27日 第1回団体交渉を行う！（その1）

1.取手駅において、出札窓口を閉鎖できる根拠を具体的に示すこと。

回答：ICTを活用した商品購入の利便性向上と購入形態の変化を踏まえて、効率的な駅業務を構築するために販売体制を見直すものである。

2.一般の変形を1減とした理由を具体的に明らかにすること。

回答：取手駅の出札窓口を閉鎖することから駅の体制を変更するものである。

会社 窓口で取り扱っている券種別等80%程度が券売機でも対応可能。チケットレスのシフトが進んでいる認識、当初から比べると約40%程度のお客様がチケットレスサービスにシフトしていることも判断材料としている。

組合 窓口で案内していたことが今後改札口で案内をするということで、窓口が閉鎖できるという根拠で良いのか。

会社 駅において案内業務は必要かと思っている。体制を考えるうえでも業務の重要性や、ご利用の駅の状況等も踏まえ検討したところである。

組合 取手駅は始発駅であり関東鉄道からの乗り換えのお客さまもいることも考えれば時期尚早だと思う。単純な数値だけで施策を進めて良いのか。

会社 現状数値的なものも見ているし、重要な役目を果たしてきた認識はあるが、経営環境の変化により必要な判断としている。

組合 現状、駅のレベルが落ちている。このような大事な施策をするのに現場社員への準備が不十分すぎる。これではお客さまに迷惑がかかる。当日勤務（2月28日）の社員が未だに具体的な作業が示されていないが、首都圏本部は知っているのか。

会社 必要な教育についてはとても重要だと思っている。必要な体制は取る。現場の苦勞は理解している。管理者とのコミュニケーションを取っていく。関連部署との連携不足というところはあるがしっかりと問題ないようモビリティサービスとしても必要な対応は取る。当日（2月28日）は説明されるという事で、しっかりと丁寧な説明をする認識である。

組合 当日を迎えるまで何も知らないまま進むことが不安ではないと思っている時点で**この施策は杜撰だ。このような施策を進めるのであれば延期・中止を求めますよ。職場、現場にいる社員をバカにしていますよ。それで良いという証明をしてください。**

会社 不安というところは不安と感じられると思うが、説明について丁寧な対応、わからないことは質問されてできるのかなと、解消できていると思っている。

[その2へ続く](#)

**窓口閉鎖当日が勤務の社員へ何の説明もない、
杜撰な施策である！**

会社は現場の社員の声を聞き、不安を解消すべきだ！